

Aterm® WH842X

ご利用ガイド

うまく接続できないなど、お困りのときのための

トラブルシューティング

も記載しています。(→本書 47 ページ～)

技術基準適合認証品

NWA-A08714-001-00

目次

目次	2
はじめに	3
安全にお使いいただくために必ずお読みください	7
各部の名称とはたらき	17
本商品を設置する	21
設置場所について	21
クイック設定 Web のご利用について	25
クイック設定 Web をご使用になる前に	25
クイック設定 Web の起動のしかた	30
セキュリティ対策をする	32
セキュリティ機能について	32
無線 LAN をご利用になる場合	35
無線 LAN 内蔵パソコンから接続する	36
Windows 10 の場合	37
本商品との通信状態を確認するには	41
macOS の場合	42
スマートフォン・タブレット端末から無線 LAN 接続する	43
WPS 機能を使用して無線 LAN 設定する	44
ECO モード (ECO 機能・熱対策機能) にする	45
ECO 機能	45
熱対策機能	45
本商品の初期化	46
初期化スイッチで初期化する	46
トラブルシューティング	47
設置に関するトラブル	47
無線 LAN に関するトラブル	48
ご利用開始後のトラブル	50
製品仕様	54
ハードウェア仕様	54
確認シート	57
お問い合わせ	59

はじめに

本商品をご使用していただくにあたり、下記の内容をご確認ください。

- インターネットをご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入および情報搾取などの危険が増えます。必要に応じて、お客さまのパソコン上にファイアウォールのソフトウェアをインストールするなどの対応をお願いいたします。
- 本商品で使用しているソフトウェアについて
本商品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客さまは、GPL、LGPL、Eclipse Public License (EPL) に基づきライセンスされるソフトウェアのソースコードを入手し、複製、頒布および改変することができます。詳細は、サポートページ (<http://www.aterm.jp/bb-support/842x/>) に公開されている「機能詳細ガイド」(●P25) を参照してください。(2019 年 2 月現在)
- 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI - B

- 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いません。また、弊社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。本製品の輸出（非居住者への役務提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、通信事業者のお問い合わせ窓口にご相談ください。

- フェールセーフ動作について

使用中は本商品が熱くなることがあります。安全策として、高温時の動作停止、冷却後の再起動機能を有しています。詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.commufa.jp/j/kankyo.html>



- ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複製することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一、ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

-
- (5) セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
 - (6) せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっでは能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

■電波に関する注意事項

- 本商品は、技術基準適合証明を受けています。
- 本商品は IEEE802.11ax の Draft 準拠製品です。現行の技術基準に則り、技術基準適合証明を取得しています。
- Draft IEEE802.11ax (5GHz 帯)、IEEE802.11ac、IEEE802.11n (5GHz 帯)、IEEE802.11a 通信利用時は、5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。
- 5GHz 帯で使用するチャンネルは 36、40、44、48ch (W52) と 52、56、60、64ch (W53) と 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch (W56) です。無線 LAN アクセスポイント (親機) としては、従来の IEEE802.11a で使用の 34、38、42、46ch (J52) の装置と IEEE802.11a モードでの通信はできません。

IEEE802.11a/n/ac Draft IEEE802.11ax			
	W52	W53	W56

・ W52 (5.2GHz 帯 / 36, 40, 44, 48ch)、
W53 (5.3GHz 帯 / 52, 56, 60, 64ch)、
W56 (5.6GHz 帯 / 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch) が利用できます。

5GHz 帯で接続する無線 LAN 端末 (子機) は、以下の表示があるものを推奨します。

- ・ W52 (5.2GHz 帯 / 36, 40, 44, 48ch)
- ・ W53 (5.3GHz 帯 / 52, 56, 60, 64ch)
- ・ W56 (5.6GHz 帯 / 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch)
- W53 (52, 56, 60, 64ch) または W56 (100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch) を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
 - ・ 各チャンネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
 - ・ 通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャンネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- Draft IEEE802.11ax (2.4GHz 帯)、IEEE802.11n (2.4GHz 帯)、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など (以下「他の無線局」と略す) が運用されています。
 - (1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - (2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止 (電波の発射を停止) してください。
 - (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、お問い合わせ先にお問い合わせください。
- Draft IEEE802.11ax (2.4GHz 帯)、IEEE802.11n (2.4GHz 帯)、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、干渉距離は 40m です。

2.4	DS/OF4
IEEE802.11b/g/n Draft IEEE802.11ax	

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
DS/OF: DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
4 : 想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
■■■■ : 全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

- 本商品を 2.4GHz 帯で使用し、チャンネル設定を手動で行う場合は、一般社団法人電波産業会の ARIB 規格により下記内容が推奨されています。
「この機器を 2.4GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャンネル設定として CH1, CH6, CH11 のいずれかにすることを推奨します。」ただし、無線 LAN 以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の 1, 6, 11ch 以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。(使用チャンネルの設定方法は、「機能詳細ガイド」(P25) を参照してください。)
- デュアルチャンネル、クワッドチャンネルを利用する場合は、同一周波数帯を使用する他の無線局に対して干渉を与える可能性があります。
 - ・ デュアルチャンネル、クワッドチャンネルを「ON」に設定する場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前にお確かめください。
 - ・ 万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、すぐに「OFF」に設定を変更してください。

- 
- コミュファ光は、中部テレコミュニケーション株式会社の登録商標です。
 - Aterm は、日本電気株式会社の登録商標です。
 - らくらくネットスタート は、NEC プラットフォームズ株式会社の登録商標です。
 - Wi-Fi、Wi-Fi Alliance、WPA および WPA2 は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
 - Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 - Mac、macOS、iPad、iPhone、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
 - iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
 - Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
 - Firefox[®] は、米国 Mozilla Foundation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
 - Google Chrome、Android は、Google LLC の商標または登録商標です。
 - Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
 - Z-Wave は、SILICON LABS, Inc. の登録商標です。
 - Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
 - 「QR コード」 は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
 - その他、各会社名、各製品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。

© NEC Platforms, Ltd. 2019

NEC プラットフォームズ株式会社の許可なく複製・改版、および複製物を配布することではできません。

安全にお使いいただくために必ず お読みください

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明



警告：人が死亡する、または重傷^(※1)を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意：人が軽傷^(※2)を負う可能性が想定される内容、および物的損害^(※3)のみの発生が想定される内容を示しています。



お願い：本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

(※1) 重傷：失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさしています。

(※2) 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをさしています。

(※3) 物的損害：家屋、家財および家畜、ペットなどにかかわる拡大損害をさしています。

図記号の説明

■ 警告・注意を促す記号



一般注意



発火注意



感電注意



高温注意



破裂注意

■ 行為を禁止する記号



一般禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



水ぬれ禁止



風呂等での
使用禁止



火気禁止

■ 行為を指示する記号



一般指示



電源プラグを
コンセントから抜け

⚠ 警 告

電源

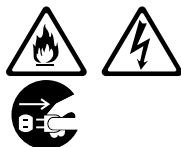
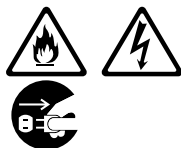
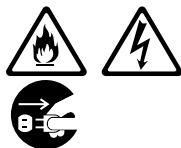
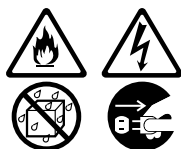
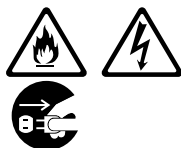
- AC100V の家庭用電源以外では使用しないでください。火災、感電の原因となります。
差し込み口が 2 つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の AC アダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。
- AC アダプタのプラグケーブルはケーブル止めに通して固定し、本体でケーブルを踏まないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。また、重いものをのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
- AC アダプタは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。
- AC アダプタおよび電源コードは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタおよび電源コードは、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 本商品に添付の AC アダプタおよび電源コードは、必ず一体で使用し、他の AC アダプタや電源コードを組み合わせて使用しないでください。
- AC アダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。
- 本商品に添付の AC アダプタは日本国内 AC100V (50/60Hz) の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。
- AC アダプタは風通しの悪い狭い場所(収納棚や本棚の後ろなど)に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。また、AC アダプタは電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。
- AC アダプタ本体が宙吊りにならないように設置してください。電源プラグと電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火災が発生する可能性があります。



⚠ 警 告

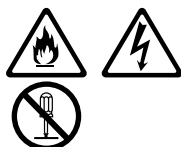
こんなときは（本体および AC アダプタ）

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、お問い合わせ先に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、お問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、お問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。
- 電源コードが傷んだ状態（芯線の露出・断線など）のまま使用すると火災、感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、お問い合わせ先に修理をご依頼ください。
- 本商品を落とさないでください。落下によって故障の原因となったり、そのまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、お問い合わせ先にご連絡ください。



禁止事項（本体および添付品）

- 本商品は家庭用の電子機器として設計されており、人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。
- 本商品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。



警告

-
- The image displays six safety symbols arranged in a 3x2 grid. The top row contains a lightning bolt symbol (warning of electricity) and a prohibition sign over a hand (no open flames). The middle row contains a fire symbol (warning of fire) and an explosion symbol (warning of explosion). The bottom row contains a prohibition sign over a flame (no open flames) and a prohibition sign over a flame (no open flames).

その他の注意事項（本体および添付品）

-

⚠ 注 意

設置場所 (本体および添付品)

- 本商品は温度 0 ~ 40℃、湿度 10 ~ 90%の結露しない環境でご使用ください。
- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 温度変化の激しい場所 (クーラーや暖房機のそばなど)に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品は前後左右 10 cm、上 10 cm 以内に他の機器や壁などが無い場所に設置してください。壁掛けの場合は壁掛け面を除きます。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。
 - ・ 本商品の上にものを置く
 - ・ 横向きに寝かせる
 - ・ 他の機器と重ね置きする
 - ・ 収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
 - ・ じゅうたんや布団の上に置く
 - ・ テーブルクロスなどを掛ける
- 本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、本商品の周囲に十分なスペースを確保してください。
- 大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。また、垂直面以外の壁や天井などには取り付けしないでください。振動などで落下し、故障、けがの原因となります。



⚠ 注 意

- ベニヤ板などのやわらかい壁には設置しないでください。確実に固定できる場所に設置してください。ネジが外れ本商品が落下し、故障、けがの原因となります。
- 本商品と電話機を接続するコードは絶対に屋外を通さないでください。雷などによる障害の原因となります。



電源

- 本商品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。
- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、本商品の AC アダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、感電の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 本商品の使用中や使用直後に AC アダプタが高温になる場合があります。やけどなどの恐れがありますので注意してください。



禁止事項（本体および添付品）

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器を接続したりしないでください。落雷による感電の原因となります。



⚠ 注意

その他の注意事項（本体および添付品）

- 本商品は動作中に高温になる場合があります。本商品の移動や取り外しの際には、ご注意ください。
- 使用中は本商品が熱くなることがありますが、手で触れることができる温度であれば故障ではありません。ただし、長時間触れたまま使用しないでください。低温やけどになることがあります。
- 壁掛け設置されている状態で、本商品にケーブルを接続したり、スイッチの操作などを行う際には、必ず本商品を手で支えながら行ってください。落下すると、故障、けがの原因となります。
- 通信事業者のガイドにしたがって接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。



STOP お願い

設置場所（本体および添付品）

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のようなところへの設置は避けてください。
 - ・ 振動が多い場所
 - ・ 気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・ 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）
 - ・ 高周波雑音を発生する高周波マシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となることがあります。このような場合は、お互いを数 m 以上離してお使いください。
- 本商品と無線 LAN 端末（子機）の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。
- 本商品を壁掛けで使用する場合、同じ場所に長期間設置すると、壁紙が変色（色あせ）する場合があります。

禁止事項（本体および添付品）

- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。

STOP お願い

- 本商品を移動するときは、接続コードを外してください。故障の原因となることがあります。
- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には触れないでください。
- 本商品の電源を入れたあと、すぐに電源を切らないでください。60 秒以上の間隔をあけてから電源を切ってください。すぐに電源を切ると故障の原因となることがあります。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

日ごろのお手入れ（本体および添付品）

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対にふかないでください。
- 水滴がついている場合は、乾いた布でふき取ってください。

その他の注意事項（本体および AC アダプタ）

- 通信中に本商品の電源が切れたり、本商品を取り外したりすると、通信ができなくなりデータが壊れることがあります。重要なデータは元データと照合してください。
- 本商品プラスチック部品の一部が、光の具合によってはキズのように見える場合があります。プラスチック製品の製造過程で生じることがありますが、構造上および機能上は問題ありません。

無線 LAN に関する注意事項

- 無線 LAN の規格値は、本商品と同等の構成を持った機器との通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
- 本商品は他社製品との相互接続性を保証しておりません。
- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は壁や家具・什器などの周辺環境により大きく変動します。
- 5.2GHz、5.3GHz 帯域の屋外での使用は電波法により禁止されています。

お願い

USB ポートに関する注意事項

- USB ポートに接続した USB デバイス内のファイルへアクセス中に、USB デバイスやパソコンを本商品から外したり、本商品の電源を切ったりすると、アクセス中のデータが壊れる場合がありますので、ご注意ください。
- USB ポートは過電流監視機能を搭載していますので、本商品から給電される電流が過電流（約 500mA を超える）となった場合、自動的に給電を遮断します。復旧させるには、USB ポートから USB デバイスを取り外したあと、本商品の電源オフ/オンを行ってください。
- 規格外の USB デバイスを接続した場合、装置故障の原因となりますので、ご注意ください。

データ通信に関する注意事項

- 「クイック設定 Web」による設定により、データ通信が途切れる場合があります。また、本商品の再起動を伴う場合、データ通信が中断されます。

電話に関する注意事項

- 「クイック設定 Web」による設定により、通話が途切れる場合があります。また、本商品の再起動を伴う場合、通話が切断されます。
- ご使用になる電話機は電気通信事業法の認証表示（技適マーク）「㊤」または「㊦」がついているものをご使用ください。本商品の電話ポートは疑似的にアナログ電話回線と同等の環境を作っています。実際のアナログ電話回線とは異なるので通信機器によっては使用できない場合があります。また、本商品の電話ポートには電話機のブランチ接続はできません。

ECO 機能に関する注意事項

- ECO 機能（設定 1）中は全ランプ、全 LED が消灯するため、POWER ランプも消灯します。POWER ランプが消灯していても装置故障ではありませんので、ご注意ください。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本商品間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピュータウイルス等を流しデータやシステムを破壊する（破壊）
等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。

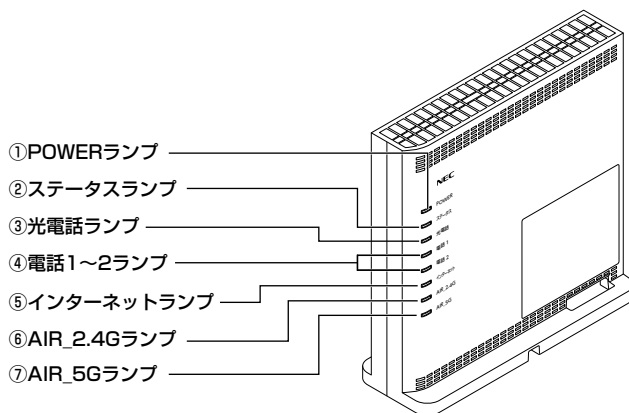
セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客さま自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

なお、無線 LAN をより安全にお使いいただくために、本商品の暗号化キーは定期的に変更することをお奨めします。変更は、クイック設定 Webで行います。暗号化キーは「無線 LAN 詳細設定」の画面で変更してください。

各部の名称とはたらき

● 側面図



名 称	表示 (色)	説 明
① POWER ランプ	緑 (点灯)	電源が入っているとき
	緑橙 (点滅)	WPS で無線 LAN 設定しているとき
	橙 (点灯)	WPS で無線 LAN 設定が完了したとき (10 秒間) ECO 機能中 (ECO 機能設定 2 選択時)
	赤 (点滅)	WPS で無線 LAN 設定が失敗したとき
	消灯	電源が入っていないとき
		ECO 機能中 (ECO 機能設定 1 選択時)
② ステータスランプ	緑 (点灯)	ルータ機能が動作時
	緑 (点滅)	初期状態 (工場出荷状態)
	橙 (点灯)	リモートメンテナンス許可状態
	橙 (点滅)	リモートメンテナンス認証中
	赤 (点灯)	装置故障時
	赤 (早い点滅)	最新のファームウェア、設定情報を書き込み中 ※故障の原因となりますので、点滅中は電源を絶対に切らないでください。
	赤 (遅い点滅)	フェールセーフ動作中 ※ 1
	赤橙 (点滅)	コミュファ光サービスが停止時
	消灯	ルータ機能が停止時
		ECO 機能中
③ 光電話ランプ	緑 (点灯)	コミュファ光電話サービスが利用可能な状態
	緑 (点滅)	コミュファ光電話サービスへの登録中
	橙 (点灯)	コミュファ光電話サービスの登録のうち一部が登録失敗しているとき
	橙 (点滅)	コミュファ光電話サービスへの接続中
	赤 (点灯)	コミュファ光電話サービスが利用不可 (PPP 認証失敗)
	赤 (早い点滅)	コミュファ光電話サービスが利用不可 (PPP 接続失敗)
	赤橙 (点滅)	コミュファ光電話サービスが利用不可 (登録失敗)

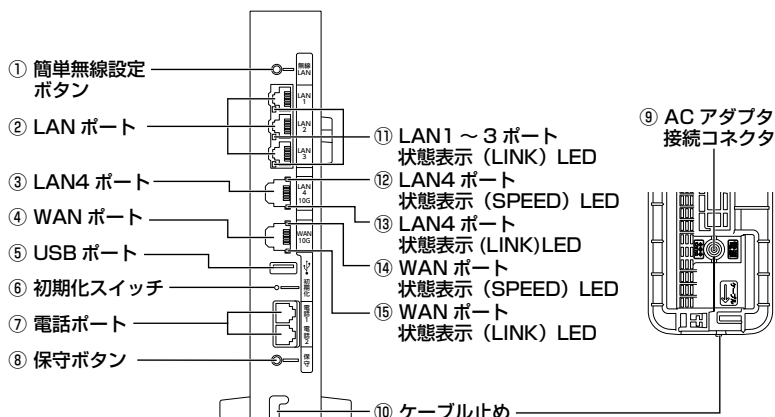
名 称	表示 (色)	説 明
③ 光電話ランプ (つづき)	消灯	コミュファ光電話サービスが利用不可 (光電話未契約または初期状態)
		ECO 機能中 (ECO 機能設定 1 選択時)
④ 電話 1 ～ 2 ランプ	緑 (点灯)	電話使用中
	緑 (点滅)	電話ポートに接続した電話機に着信中
	橙 (点滅)	迷惑電話などの拒否動作中 * 2
	消灯	電話未使用時、または未接続
		ECO 機能中 (ECO 機能設定 1 選択時)
⑤ インターネットランプ	緑 (点灯)	コミュファ光インターネットサービス (IPv6 * 3 /IPv4) が利用可能
	緑 (点滅)	コミュファ光インターネットサービス (IPv6 * 3 /IPv4) への接続試行中
	橙 (点灯)	コミュファ光インターネットサービス (IPv6 * 3 /IPv4) への接続待機中 (PPP 接続待機中)
	橙 (点滅)	コミュファ光インターネットサービス (IPv6 * 3 /IPv4) への接続中 (PPP 接続中)
	赤 (点灯)	コミュファ光インターネットサービス (IPv6 * 3 /IPv4) が利用不可 (PPP 認証失敗)
	赤 (点滅)	コミュファ光インターネットサービス (IPv6 * 3 /IPv4) が利用不可 (PPP 接続失敗)
	赤橙 (点滅)	LAN ポートに接続された機器の接続に誤りがあるとき
	消灯	コミュファ光インターネットサービス (IPv6 * 3 /IPv4) が未接続、ルータ機能停止状態、または WAN ポート未接続
⑥ AIR_2.4G ランプ		ECO 機能中
	緑 (点灯)	2.4GHz 帯の無線機能動作中
	橙 (点灯)	2.4GHz 帯の無線機能動作中 (IEEE802.11g/b で動作しているとき)
	赤 (点灯)	無線 LAN と干渉する電波を検出時
	消灯	2.4GHz 帯の無線機能が停止時
⑦ AIR_5G ランプ		ECO 機能中
	緑 (点灯)	5GHz 帯の無線機能動作中
	緑 (点滅)	DFS 干渉確認中 ※ DFS 干渉確認は、W53/W56 帯域の無線チャネルを選択した場合に選択チャネルが気象観測レーダーなどと電波干渉がないかを確認する動作です。
	赤 (点灯)	フェールセーフによる電源オフ時 無線 LAN と干渉する電波を検出中
	消灯	5GHz 帯の無線機能が停止時
		ECO 機能中

※ 1 : LAN4 ポートの通信速度を 1Gbps に制限中です。

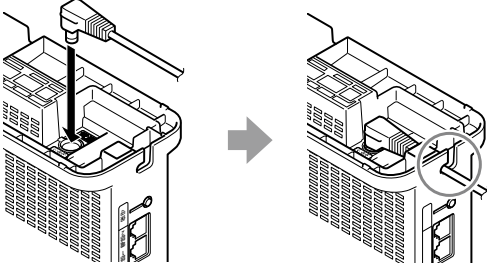
※ 2 : 本機能のご利用は、通信事業者とのご契約内容によります。

※ 3 : IPv6 機能は、通信事業者とのご契約内容によります。

● 背面図／底面図



名 称	表示 (色)	説 明
① 簡単無線設定ボタン	無線 LAN	WPS で無線 LAN 接続設定をする際に使用します。
② LAN1 ～ 3 ポート	LAN1 ～ LAN3	LAN ケーブルを使用して、パソコンなどの端末と接続するためのポートです。 3 ポート (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T) ※ Cat5e 以上、UTP ケーブルを推奨しますが、Cat5e 以上、STP ケーブルでもご利用になれます。
③ LAN4 ポート	LAN4 10G	LAN ケーブルを使用して、パソコンなどの端末と接続するためのポートです。 1 ポート (10GBASE-T/5GBASE-T/2.5GBASE-T/1000BASE-T/100BASE-TX) ※ Cat6A 以上、STP ケーブルを推奨しますが、Cat6A 以上、UTP ケーブルでもご利用になれます。
④ WAN ポート	WAN 10G	回線終端装置などと接続します。(10GBASE-T/1000BASE-T/100BASE-TX) ※ Cat6A 以上、STP ケーブルを推奨しますが、Cat6A 以上、UTP ケーブルでもご利用になれます。
⑤ USB ポート		USB デバイスを接続するためのポートです。
⑥ 初期化スイッチ	初期化	初期化するときに使用します。
⑦ 電話 1 ～ 2 ポート	電話 1、電話 2	電話機コードを使用して、電話機を接続するためのポートです。
⑧ 保守ボタン	保守	通信事業者のガイドを参照してください。
⑨ AC アダプタ接続コネクタ	電源	WH842X 用 AC アダプタを接続します。

名 称	表示 (色)	説 明
⑩ ケーブル止め	—	ACアダプタのプラグは矢印方向に音がするまで差し込み、ACアダプタのプラグケーブルはケーブル止めに通して固定します。 
⑪ LAN1～3ポート状態表示 (LINK) LED	緑 (点灯)	LAN 上の機器 (パソコンなど) とのリンクが確立しています。(1Gbps/100Mbps/10Mbps)
	緑 (点滅)	データ送受信中です。
	消灯	ECO 機能中、または LAN 上の機器 (パソコンなど) とのリンクが確立していません。
⑫ LAN4ポート状態表示 (SPEED) LED	緑 (点灯)	リンク速度 (10Gbps) で接続中です。
	橙 (点灯)	リンク速度 (5Gbps/2.5Gbps/1Gbps/100Mbps) で接続中です。
	消灯	ECO 機能中、または接続できない状態です。
⑬ LAN4ポート状態表示 (LINK) LED	緑 (点灯)	LAN 上の機器 (パソコンなど) とのリンクが確立しています。(10Gbps/5Gbps/2.5Gbps/1Gbps/100Mbps)
	緑 (点滅)	データ送受信中です。
	消灯	ECO 機能中、または LAN 上の機器 (パソコンなど) とのリンクが確立していません。
⑭ WANポート状態表示 (SPEED) LED	緑 (点灯)	リンク速度 (10Gbps) で接続中です。
	橙 (点灯)	リンク速度 (1Gbps) で接続中です。
	消灯	ECO 機能中、または接続できない状態です。
⑮ WANポート状態表示 (LINK) LED	緑 (点灯)	WAN 側とのリンクが確立しています。
	緑 (点滅)	データ送受信中です。
	消灯	ECO 機能中、または WAN 側とのリンクが確立していません。

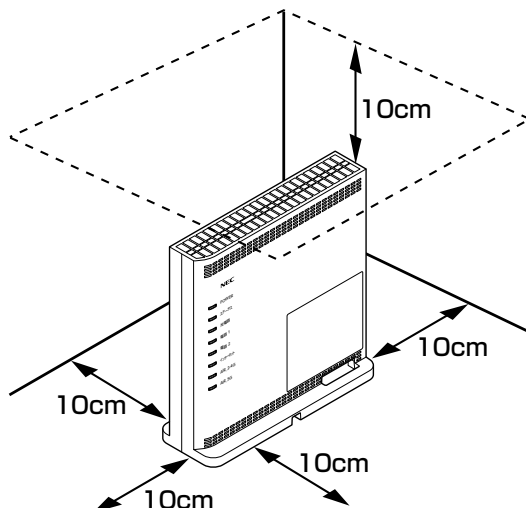
本商品を設置する

ここでは、設置の際の注意事項を説明しています。
実際の設置、接続は通信事業者のガイドを参照してください。

設置場所について

本商品は、前後左右 10cm、上 10cm 以内に、パソコンや壁などのものがない場所に設置してください。

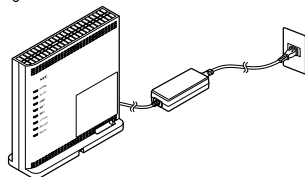
壁掛けの場合は壁掛け面を除きます。



警告

AC アダプタを接続および設置する際は、以下のことにご注意ください。

- AC アダプタおよび電源コードは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタおよび電源コードは、他の製品に使用しないでください。
- 本商品に添付の AC アダプタおよび電源コードは、必ず一体で使用し、他の AC アダプタや電源コードを組み合わせ使用しないでください。
- 風通しの悪い場所に設置しないでください。
- AC アダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。
- AC アダプタ本体が宙吊りにならないよう設置してください。
- たこ足配線にしないでください。



注意

- 狭い場所に設置しないでください。内部に熱がこもり、破損したり火災の原因となることがあります。
- 本商品の上にものを置いたり、横置きや重ね置きはしないでください。

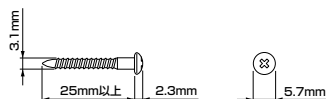
壁掛けの場合



壁掛け用ネジ（2本）はお客さままでご用意ください。

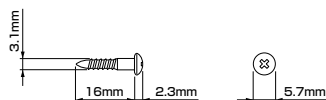
①壁掛け用ネジ

推奨：丸頭 木ネジ M3.1 × 25 以上



②本体固定用ネジ

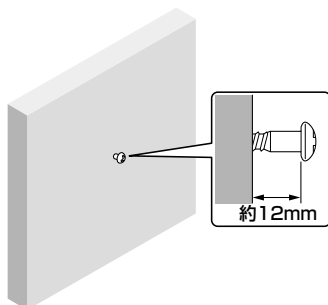
推奨：丸頭 木ネジ M3.1 × 16



1

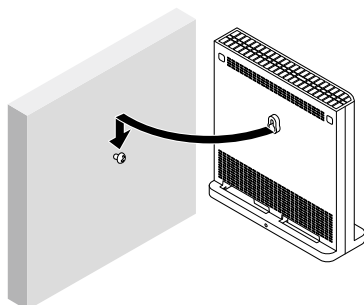
本商品を取り付ける位置を決め、壁掛け用ネジ（長い方）を壁 1 箇所に取り付ける

※ネジは最後まで締め込まず、壁から約 12mm 出るように取り付けてください。



2

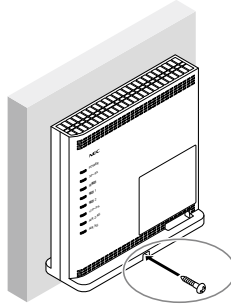
本商品側面（裏）の取り付け穴に壁のネジをはめ込み、下方向へスライドさせて固定する



3

本体固定用ネジ（短い方）で本商品を固定する

壁掛け用ネジ（長い方）だけで取り付けただけの場合、本商品に接続したケーブルに引っ張られて本商品が傾き、落下する恐れがありますので、本体固定用ネジ（短い方）での固定も忘れずに行ってください。

**！ 壁から取り外す場合は**

下側の本体固定用ネジを外し、本商品の両側を持って、上方向へスライドさせて取り外してください。

警告

- 本商品を落とさないでください。落下によって故障の原因となったり、そのまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。万一、本商品を落したり破損した場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、お問い合わせ先にご連絡ください。

注意

- 大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。また、垂直面以外の壁や天井などには取り付けしないでください。振動などで落下し、故障、けがの原因となります。
- ペニヤ板などのやわらかい壁には設置しないでください。確実に固定できる場所に設置してください。ネジが外れ本商品が落下し、故障、けがの原因となります。
- 壁掛け設置されている状態で、本商品にケーブルを接続したり、スイッチの操作などを行う際には、必ず本商品を手で支えながら行ってください。落下すると、故障、けがの原因となります。
- 本商品は、横置きにはしないでください。通風孔がふさがれ、内部に熱がこもり、故障の原因となったり、通信特性が悪化する原因となります。
- 通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

【例】



お知らせ

- 本商品を壁掛けで使用する場合、同じ場所に長期間設置すると、壁紙が変色（色あせ）する場合があります。

クイック設定 Web のご利用について

本商品のさまざまな機能をご利用になる場合は、クイック設定 Web (WWW ブラウザ) で設定を行います。本商品のさまざまな機能については、「機能詳細ガイド」(●下記) で詳しく説明しています。

ここでは、クイック設定 Web をご使用になる前の確認事項と起動のしかたについて記載しています。クイック設定 Web の詳しい使いかたについては、「機能詳細ガイド」の「クイック設定 Web の使いかた」を参照してください。



サポートページについて

本書ではご案内していない、本商品のサポート情報を掲載しています。

<http://www.aterm.jp/bb-support/842x/>

「機能詳細ガイド」は、上記サポートページよりご覧ください。

クイック設定 Web をご使用になる前に

クイック設定 Web をご使用になる前に、お使いになるパソコンの WWW ブラウザ (Internet Explorer など) について、以下を確認してください。

動作確認済み WWW ブラウザ

(2019 年 2 月現在)

- | | |
|--|--|
| ■ Windows 10 の場合
Microsoft Edge
Internet Explorer 11
Firefox
Google Chrome | ■ iOS 12.0/11.0 の場合
Safari |
| ■ macOS v10.14/v10.13 の場合
Safari 12.0 (v10.14)
Safari 11.0 (v10.13) | ■ Android 8.0/7.0/6.0 の場合
Google Chrome |

お願い

- WWW ブラウザでキャッシュを使用しないように設定してください。
< Internet Explorer 11 の場合の設定例 >
①「ツール」－「インターネットオプション」－「全般」－「閲覧の履歴」－「設定」を開く
②「インターネット一時ファイル」欄の「保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認」で「Web サイトを表示するたびに確認する」を選択する



お知らせ

- 通信事業者とのご契約内容やサービス内容により、クイック設定 Web への接続ができない場合があります。

パソコンのネットワークの確認

パソコンのネットワークの設定が、Windows の場合は「IP アドレスを自動的に取得する」、Mac の場合は「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。

Windows 10 の場合

- 1 「Windows」キーを押し、表示された一覧から「Windows システムツール」－「コントロールパネル」をクリックする
- 2 「ネットワークとインターネット」－「ネットワークと共有センター」をクリックし、「アダプターの設定の変更」をクリックする
- 3 「イーサネット」を右クリックし、「プロパティ」をクリックする
※本商品に無線 LAN 接続する場合は、「Wi-Fi」を右クリックして「プロパティ」をクリックしてください。
- 4 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい] をクリックする
- 5 「インターネットプロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択し、[プロパティ] をクリックする
- 6 「IP アドレスを自動的に取得する」と「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択する
- 7 [OK] をクリックする
- 8 [閉じる] をクリックする



お知らせ

- Windows 10 の設定により表示内容が異なる場合があります。
- ここでは、Windows 10 の通常表示モード（カテゴリ表示）を前提に記述しています。

WWW ブラウザの設定確認

WWW ブラウザ（Internet Explorer など）の接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。

以下は、Windows 10 で Internet Explorer 11 を使用している場合の例です。お客さまの使用環境（ソフトウェアなど）によっても変わりますので、詳細はソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

① Internet Explorer を起動する。

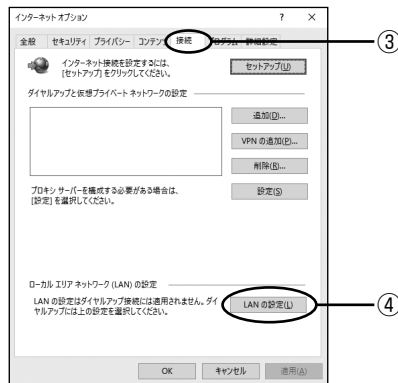
※「Windows」キーを押し、表示された一覧から「Windows アクセサリ」－「Internet Explorer」をクリックします。

② 「ツール」の「インターネットオプション」を選択する。

③ 「接続」タブをクリックする。

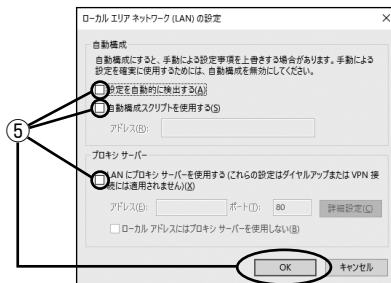
※ダイヤルアップの設定欄が表示されている場合は、「ダイヤルしない」を選択してください。

④ [LAN の設定] をクリックする。



⑤ 「設定を自動的に検出する」、「自動構成スクリプトを使用する」、「LAN にプロキシサーバーを使用する」の ☒ を外して [OK] をクリックする。

※チェックが入っていない場合は、そのまま [OK] をクリックします。



⑥ [OK] をクリックする。

JavaScript の設定確認

WWWブラウザ（クイック設定 Web）で設定を行うには JavaScript の設定を有効にする必要があります。

※ WWW ブラウザの設定でセキュリティを高く設定した場合、本商品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、JavaScript の設定を有効にしてください。

Windows で Internet Explorer をご利用の場合

以下は、Windows 10 で Internet Explorer 11 を使用している場合の例です。

- 1 「Windows」キーを押し、表示された一覧から「Windows システムツール」－「コントロールパネル」をクリックする
- 2 「ネットワークとインターネット」－「インターネットオプション」をクリックする
- 3 「セキュリティ」タブをクリックし、「信頼済みサイト」をクリックする
- 4 「サイト」をクリックする

- 5 「このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする」のチェックを外す

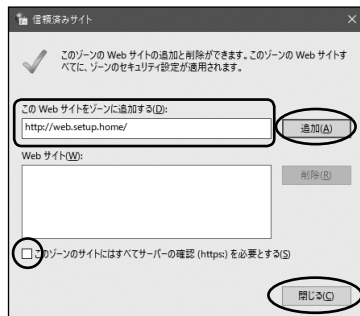
- 6 「この Web サイトをゾーンに追加する」に「http://web.setup.home/」を入力して [追加] をクリックし、[閉じる] をクリックする

※IP アドレスを入力して設定画面を開く場合には、IP アドレスを入力します。
(初期状態は 192.168.0.1 です。)

例：http://192.168.0.1/

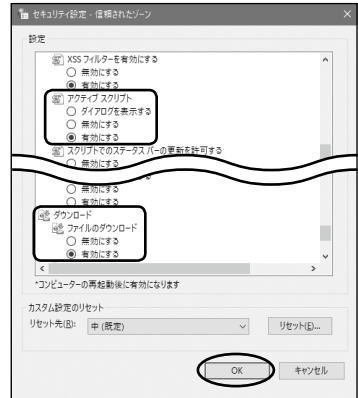
IP アドレスを変更した場合は、設定した IP アドレスを入力してください。

- 7 「レベルのカスタマイズ」をクリックする



- 8 画面をスクロールし、「アクティブスクリプト」と「ファイルのダウンロード」を「有効にする」に変更し、[OK]をクリックする

※「このゾーンの設定を変更しますか？」の画面が表示された場合は、[はい]（または [はい] - [適用]）をクリックしてください。



- 9 [OK] をクリックする

macOS で Safari をご利用の場合

以下は、macOS v10.14 を使用している場合の例です。

※ Safari のバージョンにより、手順が異なる場合があります。

- 1 Safari を起動する
- 2 メニューバーの「Safari」－「環境設定」をクリックする
- 3 「セキュリティ」をクリックする
- 4 「JavaScript を有効にする」にチェックを入れる
- 5 クローズボタンをクリックする

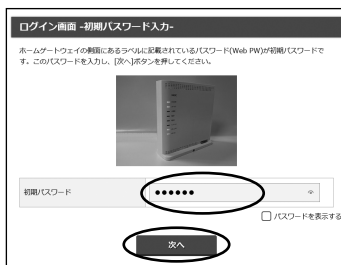


クイック設定 Web の起動のしかた

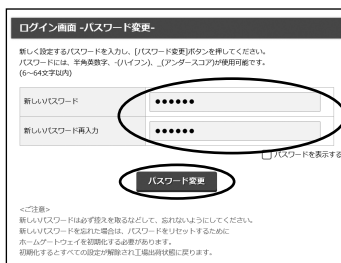
クイック設定 Web で設定を行う場合は、次の手順で起動します。

設定方法は、「機能詳細ガイド」(●P25)の「クイック設定 Web の使いかた」を参照してください。

- ① パソコンなどを起動する
- ② WWW ブラウザを起動し、アドレス欄に下記を入力して、設定画面を開く
http://web.setup.home/
※ 本商品の IP アドレスを入力して開くこともできます。
(初期状態は 192.168.0.1 です)
例: http://192.168.0.1/
- ③ 「初期パスワード入力」画面が表示された場合は、本商品側面に記載された数字 6 桁のパスワード (Web PW) を入力し、[次へ] をクリックする
※ この画面は、初期パスワードが変更されていない場合に 표시됩니다。



- ④ 新しく設定する管理者パスワードを入力し、[パスワード変更] をクリックする



- 新しい管理者パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。忘れた場合は、設定画面を開くことができず、本商品を初期化してお客さまが本商品に行ったすべての設定がやり直しになります。

管理者パスワード控え欄	
-------------	--

- ⑤ [ログイン画面へ] をクリックする
- ⑥ 新しく設定した管理者パスワードを入力して [ログイン] をクリックする

The screenshot shows a login interface titled "ログイン画面" (Login Screen). It includes a text prompt "パスワードを入力し、[ログイン]ボタンを押してください。" (Enter your password and press the [Login] button). Below this is a password input field labeled "パスワード" containing six dots, which is circled in red. To the right of the field is a checkbox labeled "パスワードを表示する" (Show password). Below the input field is a "ログイン" (Login) button, also circled in red. At the bottom, there is a "ご注意" (Note) section with the following text: "ログインには、お書き込みいただいたパスワードが必要です。" (Login requires the password you entered.); "初期パスワードではログインできません。" (You cannot login with the initial password.); "パスワードを忘れた場合は、パスワードをリセットするためにホームゲートウェイを初期化する必要があります。" (If you forget your password, you need to initialize the home gateway to reset the password.); and "初期化するとすべての設定が削除され工場出荷状態に戻ります。" (Initializing will delete all settings and return the device to factory default state.).

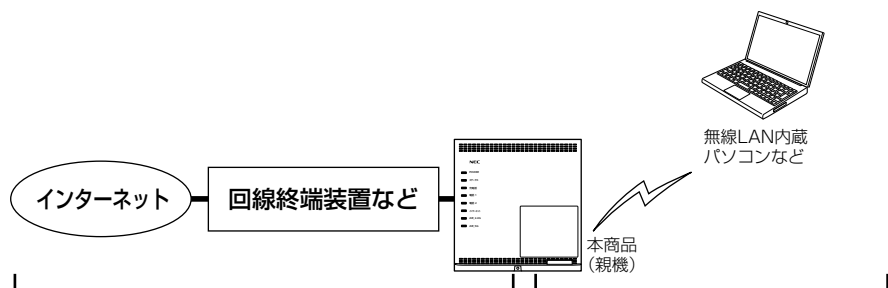
- ⑦ 「クイック設定ウィザード」画面が表示された場合は、プロバイダから提供された情報を入力し、[設定] をクリックする
- ⑧ クイック設定 Web のホーム画面が表示される

セキュリティ対策をする

セキュリティ機能について

本商品には、インターネットからの不正なアクセスを防ぐ「WAN 回線側セキュリティ機能」と、無線ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されたりしないための「無線 LAN 内ネットワークセキュリティ機能」があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。

セキュリティ対策の詳細については、「機能詳細ガイド」(●P25)を参照してください。



WAN 回線側セキュリティ機能

- ・ IP パケットフィルタリング
- ・ アドバンスド NAT (IP マスカレード / NAPT)
- ・ 不正アクセス検出機能
- ・ ダイナミックポートコントロール機能

「機能詳細ガイド」
(●P25)

無線 LAN 内ネットワークセキュリティ機能

- ・ 暗号化 (●P33)
- ・ ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) (●P33)
- ・ MAC アドレスフィルタリング機能 (●P33)
- ・ ネットワーク分離機能 (●P34)

❓ セキュリティ対策を行うことの重要性について

- インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりしたりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることになります。悪意のある第三者から、パソコンやルータに不正にアクセスされることによって、大事なデータを盗まれたり、インターネット回線を無断利用されたりすることもあります。インターネットを利用する場合にはその危険性を考慮して、必要なセキュリティレベルに応じて、本商品の機能を利用してセキュリティ対策を行ってください。また、ウィルス対策ソフトウェアの導入など、パソコン側のセキュリティ対策も合わせて行うことをお勧めします。
- 無線 LAN 端末 (子機) による無線通信を行う場合は、無線 LAN 内のセキュリティ対策を行うことをお勧めします。無線 LAN 内のセキュリティ対策がない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすまされたりしてインターネット回線を使用し、インターネット上で違法行為などをされることがあります。(●P16)

暗号化

本商品で使用している暗号化キー（任意の文字列）と同じキーを登録した無線 LAN 端末（子機）のみ無線通信できるようになる機能です。これにより、送受信される無線データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から守ります。

<暗号化方式について>

● TKIP (Temporal Key Integrity Protocol)

Wi-Fi Alliance のセキュリティプロトコル (WPA/WPA2) に採用の暗号化方式。一定パケット量や一定時間ごとにキーを自動的に変更して暗号化を行います。

● AES (Advanced Encryption Standard)

米国商務省標準技術局 (NIST) が選定した次世代の暗号化方式。TKIP よりさらに強固な暗号化を行うことができます。

お願い

- 暗号化の設定は必ず本商品と無線 LAN 端末（子機）で同じ設定にしてください。
- 複数の無線 LAN 端末（子機）を使用する場合、すべての無線 LAN 端末（子機）に本商品と同じ暗号化キーを設定してください。
- 1 つのネットワークで利用できる暗号化方式は 1 つです。混在はできません。また、AES、TKIP の暗号化方式をご利用になるには、対応した無線 LAN 端末（子機）が必要です。
- 本商品を初期化すると、無線 LAN 設定内容が初期状態に戻ります。

ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）

無線 LAN 機器が、通信するお互いを識別する ID としてネットワーク名（SSID）があります。このネットワーク名（SSID）が一致しないと無線通信ができません。一般にネットワーク名（SSID）は検索することができますが、他のパソコンからのアクセスに対し、ネットワークの参照に応答しないようにすることができます。

※ 本商品独自の機能です。接続する機器によっては本機能が使えない場合があります。

MAC アドレスフィルタリング機能

MAC アドレスが登録された無線 LAN 端末（子機）とのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、MAC アドレスが登録されていない無線 LAN 端末（子機）から LAN やインターネットへ接続されるのを防ぐことができます。

ネットワーク分離機能

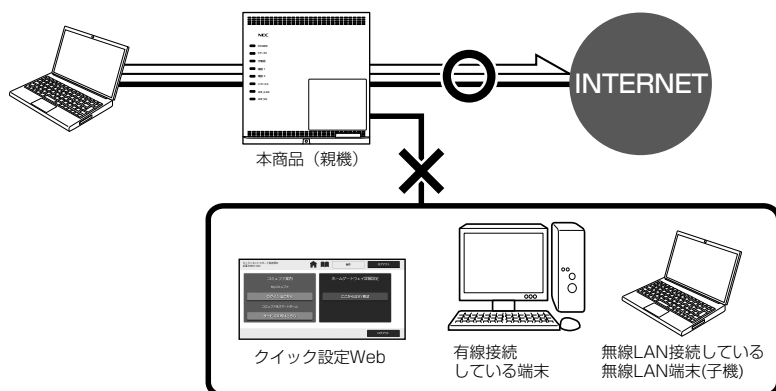
マルチ SSID のそれぞれのネットワーク（2.4GHz 帯プライマリ SSID、5GHz 帯プライマリ SSID / 2.4GHz 帯セカンダリ SSID、5GHz 帯セカンダリ SSID）に接続した無線 LAN 端末（子機）や、有線で接続されたパソコンなどへのアクセスを制限し、本商品に接続した他のネットワークから分離することができます。

なお、インターネットへの通信は可能です。

設定は、クイック設定 Web で行います。

（初期値：2.4GHz 帯 / 5GHz 帯プライマリ SSID は「OFF」、2.4GHz 帯 / 5GHz 帯セカンダリ SSID は「ON」）

< 2.4GHz 帯セカンダリ SSID を「ON」に設定した場合の例 >



「ON」に設定したネットワークに接続した無線 LAN 端末（子機）では、以下の制限があります。

- ・クイック設定 Web に接続できない。
- ・本商品に有線で接続された端末に接続できない。
- ・本商品に他のネットワーク名 (SSID) で無線 LAN 接続された端末に接続できない。

※インターネットや同一のネットワークに無線 LAN 接続された端末との通信は可能です。



お知らせ

- ネットワーク分離機能は制限を解除することができます。いったん有線で本商品とパソコンを接続してクイック設定 Web を表示し、「ホームゲートウェイ詳細設定」－「3. 無線 LAN」－「無線 LAN 詳細設定」の「対象ネットワークを選択」でネットワークを選択して、「アクセスポイント設定」の「ネットワーク分離機能」を「OFF」に設定してください。
- さらにセキュリティを高めるために、同一のネットワークに無線 LAN 接続された端末との通信を制限することができます。クイック設定 Web の「ホームゲートウェイ詳細設定」－「3. 無線 LAN」－「無線 LAN 詳細設定」の「対象ネットワークを選択」でネットワークを選択して、「アクセスポイント設定」の「SSID 内分離 (セパレータ)」を「ON」に設定してください。

無線 LAN をご利用になる場合

無線 LAN をご利用になるには、本商品の無線 LAN 設定内容を無線 LAN 端末（子機）側に適用する必要があります。設定方法は、接続する無線 LAN 端末（子機）によって異なりますので、以下で設定方法を確認してください。

お持ちの無線 LAN 端末（子機）はどれですか？

※ 無線 LAN 端末（子機）がない場合は、別途家電量販店、オンラインショップにてご購入ください。

WPS 機能に対応した無線 LAN 端末（子機）の場合は、「WPS 機能を使用して無線 LAN 設定する」（●P44）を参照してください。

無線 LAN 内蔵パソコン以外

NEC 製 Aterm シリーズ
無線 LAN 端末（子機）

NEC 製以外の無線 LAN 端末（子機）、ゲーム機など

無線 LAN 内蔵
パソコン

「無線 LAN 内蔵パソコン
から接続する」（●P36）を
参照してください。

無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書などを参照して、本商品側面のラベルに記載されている無線 LAN 設定内容を無線 LAN 端末（子機）側に設定してください。（次ページ参照）



お知らせ

- 無線 LAN 端末（子機）は、10 台以下でのご使用をお勧めします。
- 無線 LAN 端末（子機）として使える機器については、サポートページ（●P25）にてご確認ください。
- 通信事業者とのご契約内容やサービス内容により、無線機能がご利用になれない場合があります。

無線 LAN 内蔵パソコンから接続する

無線 LAN 内蔵のパソコンから、本商品に無線で接続してインターネット接続することができます。

※ 相互接続確認済み機器については、サポートページ（➡P25）にてご確認ください。

■「Windows のワイヤレスネットワーク接続で設定する場合」

ここでは下記の場合を例に説明しています。

① 設定する

・ Windows 10 の場合（➡P37）

② 本商品との通信状態を確認する（➡P41）

■「macOS の場合」（➡P42）

macOS v10.14 の場合を説明しています。

お願い

- 設定に利用するユーティリティや設定方法は、パソコンや OS によって異なります。設定方法の詳細は、パソコンなどのメーカーにお問い合わせください。

Windows 10 の場合

無線 LAN 内蔵パソコンの無線（ワイヤレス）機能を有効にしてから、下記の手順で設定してください。

接続先をネットワーク一覧から選択して設定する場合

1 通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックする



2 接続する本商品のネットワーク名（SSID）をクリックする

※初期状態のネットワーク名（SSID）は、本商品側面のラベルに記載されています。



※接続する本商品のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、「接続先を手動で設定する場合」（●P39）へ進みます。

3

【接続】をクリックする

※接続に失敗した場合は、[閉じる]をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

- ①通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックする
- ②「ネットワーク設定」をクリックする
- ③「Wi-Fi 設定を管理する」をクリックする
- ④「既知のネットワークの管理」で、接続するネットワーク名（SSID）をクリックし、[削除]をクリックする

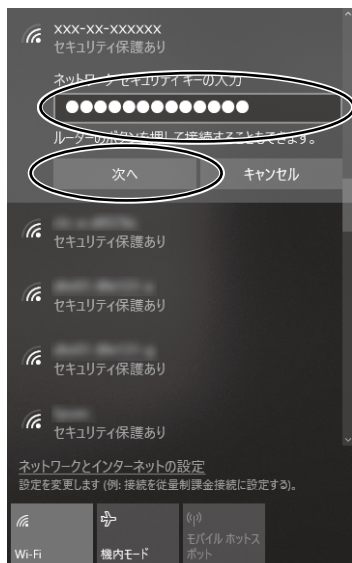
上記の手順が完了したら、手順 1 (P37) から接続し直してください。



4

本商品の暗号化キーを入力して、[次へ]をクリックする

※初期状態のネットワーク名（SSID）は、本商品側面のラベルに記載されています。



以上で、本商品との無線 LAN 設定は完了です。



本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(P41) で確認してください。

接続先を手動で設定する場合

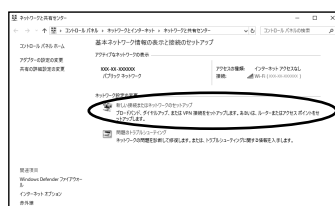
1 通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンを右クリックし、「ネットワークとインターネットの設定を開く」をクリックする



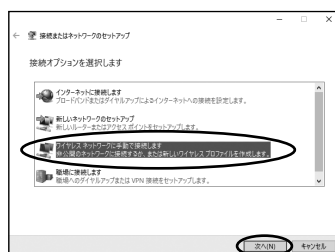
2 「ネットワークと共有センター」をクリックする



3 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックする



4 「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」を選択し、「次へ」をクリックする



5

表示される画面に合わせて設定を行う

※初期状態のネットワーク名 (SSID) と暗号化キーは、本商品側面のラベルに記載されています。

- ①「ネットワーク名」で本商品のネットワーク名 (SSID) を入力する
- ②「セキュリティの種類」で本商品の暗号化モードを選択する
- ③「セキュリティ キー」に本商品の暗号化キーを入力する

※ 暗号化キーは半角で、8～63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。

※ 暗号化キーに使用できる文字は次のとおりです。

【8～63 桁の場合】英数記号 (0～9、a～z、A～Z、下記の記号)

!	%	)	-	:	@	^	
"	&	*	.	<	[	_	}
#	'	+	/	=	\	`	~
\$	(	,	:	>	]	{	

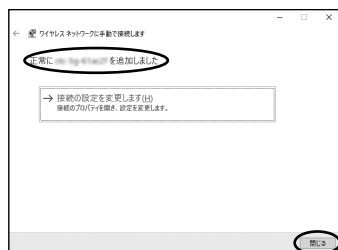
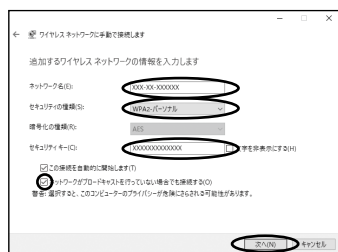
※「\」(バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64 桁の場合】16 進数 (0～9、a～f、A～F)

- ④本商品で ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を設定している場合は、「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」にチェックを入れる
- ⑤[次へ] をクリックする

6

「正常に…を追加しました」の画面が表示されたら [閉じる] をクリックする



以上で、本商品との無線 LAN 設定は完了です。



本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(P41) で確認してください。

本商品との通信状態を確認するには

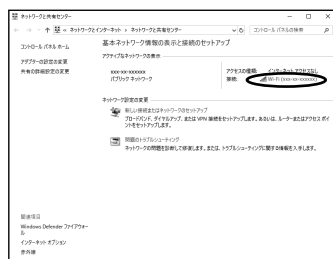
次の手順で通信状態を確認できます。

1 通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンを
右クリックし、「ネットワークとインターネットの設定を開く」をクリックする

2 「ネットワークと共有センター」をクリックする

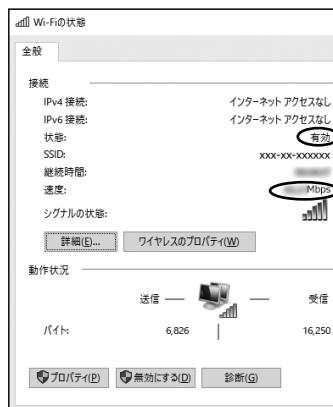


3 「Wi-Fi」をクリックする



4 無線 LAN 設定が正しく行われていることを確認する

- ・「状態」が「有効」になっていること
- ・「速度」が表示されていること
（表示される速度は、ご利用の環境により異なります。）



5 「閉じる」をクリックする

macOS の場合

macOS のバージョンにより、手順が異なる場合があります。

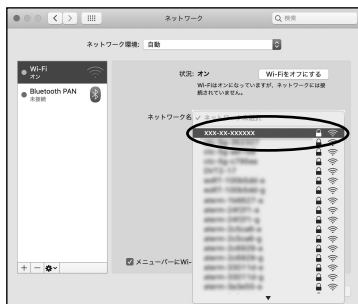
macOS v10.14 の場合

1 アップルメニューの「システム環境設定」－「ネットワーク」アイコンをクリックする

2 サービスリストから「Wi-Fi」を選択する

3 「ネットワーク名」のプルダウンメニューで、本商品のネットワーク名 (SSID) を選択する

※初期状態のネットワーク名 (SSID) は、本商品側面のラベルに記載されています。



4 「パスワード」に本商品の暗号化キーを入力して、[接続] をクリックする

※ここで、「このネットワークを記憶」にチェックが入っていることも確認してください。

※初期状態の暗号化キーは、本商品側面のラベルに記載されています。



5 「状況」に「接続済み」と表示される

6 画面を閉じる

以上で、本商品との無線 LAN 設定は完了です。



お知らせ

- ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) が有効となっている場合は、本商品のネットワーク名 (SSID) が表示されません。ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) は無効にしてください。

スマートフォン・タブレット端末から 無線 LAN 接続する

本商品にスマートフォンやタブレット端末を無線 LAN 接続することができます。

本商品側面のラベルに記載されているネットワーク名 (SSID) と暗号化キーを手動で設定して、無線 LAN 接続します。設定方法については、スマートフォンやタブレット端末の取扱説明書などを参照してください。

iPhone / iPad の場合、標準カメラアプリを使用して、本商品側面のラベルに記載されている「無線 LAN 設定用 QR コード」を読み取って、無線 LAN 接続することができます。

本商品を初期状態でご利用の場合は、「無線 LAN 設定用 QR コード」で簡単に設定することができます。

設定方法は、「機能詳細ガイド」(●P25) を参照してください。



お知らせ

- 標準カメラアプリは、iOS 12.0/11.0 でご利用ください。(2019 年 2 月現在)

WPS 機能を使用して無線 LAN 設定する

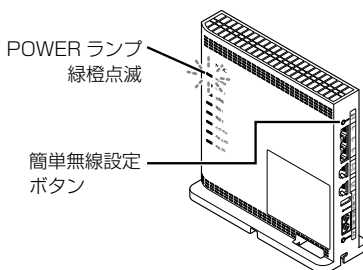
WPS 機能とは、無線自動設定を簡単に行える機能です。本商品は、WPS 機能に対応した無線 LAN 端末（子機）を自動設定する機能を持っています。下記の手順で設定してください。

※設定の際は、本商品と無線 LAN 端末（子機）は近くに置いた状態で設定してください。
（目安：1m 程度）

1 無線 LAN 端末（子機）の WPS 機能を起動する

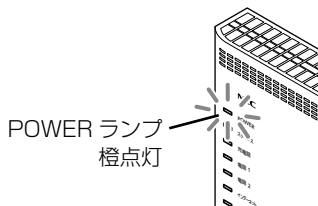
起動方法は、無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書などを参照してください。

2 本商品の簡単無線設定ボタンを長押し、POWER ランプが緑橙点滅したら放す



3 本商品の POWER ランプが橙点灯することを確認する

※POWER ランプは約 10 秒間橙点灯した後、緑点灯に戻ります。



失敗した場合は、POWER ランプが約 10 秒間赤点滅します。
手順 1 から設定をやり直してください。



お知らせ

- 本商品で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）が有効になっている場合は、WPS 機能での設定はできません。本商品側の設定を確認してください。
- 本商品で MAC アドレスフィルタリング機能が有効になっている場合は、無線 LAN 端末（子機）の MAC アドレスが登録されていないと、無線 LAN 端末（子機）によっては WPS 機能で設定できません。本商品側の設定を確認してください。

ECO モード (ECO 機能・熱対策機能) にする

ECO モードには、ECO 機能と熱対策機能の 2 つの機能があります。

ECO 機能

ECO 機能では、一部の機能を制限することで消費電力を抑えることができます。あらかじめ、起動／停止時刻を設定すれば自動的に ECO 機能へ切り替えることができます。

ECO 機能での制限内容

ECO 機能の設定パターンは 2 つあります。それぞれの制限事項は次のとおりです。

<設定 1>

- 全ランプ、全 LED が消灯する。
- LAN4 ポートの通信速度が 1Gbps で動作する。(WAN ポートの通信速度は変わりません。)

<設定 2>

- POWER ランプが橙点灯する。
- 光電話ランプ、電話 1 ～ 2 ランプは通常表示し、それ以外のランプは消灯する。
- 全 LED が消灯する。
- LAN4 ポートの通信速度が 1Gbps で動作する。(WAN ポートの通信速度は変わりません。)

熱対策機能

熱対策機能では、一部の機能を制限し、消費電力を抑えることで装置内部の温度上昇を抑え、フェールセーフ機能発動を抑制します。ECO 機能との違いは、起動／停止時刻設定はなく、設定パターンにより自動的に動作します。

熱対策機能での制限内容

熱対策機能の設定パターンは 2 つあります。それぞれの制限事項は次のとおりです。

<設定 1>

- 7 ～ 9 月 (10:00 ～ 15:00) の間、WAN ポート／LAN4 ポート共に 1Gbps で動作する。

<設定 2>

- 常に WAN ポート／LAN4 ポート共に 1Gbps で動作する。



頻繁に AIR_5G ランプが赤点灯 (強制電源オフ) を繰り返すような場合は、熱対策機能の設定を推奨します。熱対策機能を設定すると装置内部の温度上昇を抑え、フェールセーフ機能発動を抑制することができます。



お知らせ

- ECO 機能と熱対策機能は同時に利用することはできません。
- ECO モード起動時は、LAN ポートの通信速度が変わるため接続が一時的に切断されます。
- ECO 機能 (設定 1) 中は全ランプ、全 LED が消灯するため、POWER ランプも消灯します。POWER ランプが消灯していても装置故障ではありませんので、ご注意ください。
- フェールセーフ機能とは、本商品の内部温度が高温になると自動で本商品の電源をオフし、高温状態が解除されると自動で電源をオンする機能です。

本商品の初期化

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して初期状態に戻すことをいいます。

いったん初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、初期状態に戻りますのでご注意ください。

初期化する前に必要に応じて本商品の設定内容を保存しておくことができます。

保存および復元の方法は、「機能詳細ガイド」(●P25)を参照してください。

なお、初期化を行っても、設置後にバージョンアップされたファームウェアは、出荷時点のファームウェアに戻ることはありません。

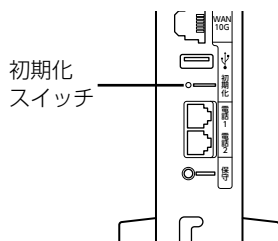
初期化スイッチで初期化する

本商品の初期化スイッチを使って初期化します。初期化スイッチは、背面にあります。

1 本商品の電源が入っていることを確認する

2 本商品の背面にある初期化スイッチを細い棒状のもの（電気を通さない材質のもの。つまようじの先など。）で、約 5 秒押し続けたら放す

POWER ランプが消灯し、しばらくして緑点灯したら初期化が完了します。



以上で、初期化は完了です。



お知らせ

- パソコンから、クイック設定 Web の「ホームゲートウェイ詳細設定」－「1. メンテナンス」－「設定値の初期化」で初期化することもできます。

お願い

- 初期化すると、管理者パスワードの設定もクリアされ、パケットフィルタなどの設定も初期値に戻りますので、初期化後に必ず再設定してください。
- 本商品は、初期状態でネットワーク名 (SSID)、暗号化キーが設定されています。初期化するとネットワーク名 (SSID)、暗号化キーの設定も初期状態 (本商品側面のラベルに記載) になります。暗号化の設定を変更している場合などは、無線 LAN 端末 (子機) から接続できなくなる場合があります。その場合は、本商品の設定を変更するか、無線 LAN 端末 (子機) の暗号化設定も初期状態 (本商品側面のラベルに記載) に戻してください。
- 初期化後の設定などについては、通信事業者のガイドを参照してください。

トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらを参照してください。
該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し(●P46)、はじめてから設定し直してみてください。

ただし、初期化を行うと本商品のすべての設定が初期状態に戻りますのでご注意ください。なお、初期化を行う前に、現在の設定内容を保存しておくことができます。

(→クイック設定 Web の「ホームゲートウェイ詳細設定」－「1. メンテナンス」－「設定値の保存&復元」で保存できます。)

- ・ 設置に関するトラブル (●下記)
- ・ 無線 LAN に関するトラブル (●P48)
- ・ ご利用開始後のトラブル (●P50)

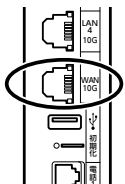
設置に関するトラブル

ECO 機能では、設定パターンによってランプ状態が変わります。(●P45)

a. 本商品の POWER ランプが緑点灯しない

現 象	原因と対策
POWER ランプが緑点灯しない	電源が入っていません。 ● AC アダプタが外れている → AC アダプタを電源コンセントに差し込んでください。 ● AC アダプタがパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている → 電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている場合、パソコンの電源が切れると本商品に供給されている電源も切れてしまいます。 ● AC アダプタが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに AC アダプタをコンセントから外して、本商品側面のラベルに記載されているお問い合わせ窓口へお問い合わせください。 ● 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。 ● ECO 機能中である → ECO 機能(設定 1)中は全ランプ、全 LED が消灯するため、POWER ランプも消灯します。POWER ランプが消灯していても装置故障ではありませんので、ご注意ください。ECO 機能を停止する場合は、クイック設定 Web で設定してください。

b. WAN ポート状態表示 LED が点灯しない

現 象	原因と対策
WAN ポート状態表示 LED が点灯しない 	● 回線終端装置などの電源が入っていない → 回線終端装置などの電源を入れて、正しく回線のリンクが確立できていることを確認してください。 ● LAN ケーブルが正しく接続されていない → 本商品の WAN ポートが回線終端装置などに LAN ケーブルで正しく接続されているか確認してください。WAN ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因となることがあります。

現 象	原因と対策
WAN ポート状態表示 LED が点灯しない (つづき)	●ECO 機能中である →ECO 機能中は、背面の LED は消灯します。 ECO 機能を停止する場合は、クイック設定 Web で設定してください。 ●LAN ケーブルの規格が正しいか確認してください。 Cat6A 以上、STP ケーブルを推奨しますが、Cat6A 以上、UTP ケーブルでもご利用になれます。 ●本商品の WAN ポートと本商品の LAN ポートを LAN ケーブルで接続してみる WAN ポート状態表示 LED が <点灯する場合> 本商品は、問題ありません。 回線終端装置などの故障、または回線終端装置などと本商品を接続している LAN ケーブルに問題がある可能性があります。 他の LAN ケーブルを用意してください。 <点灯しない場合> 本商品を初期化してみてください。(●P46) それでも解決しない場合は本商品の故障が考えられます。 本商品側面のラベルに記載されているお問い合わせ窓口へお問い合わせください。

無線 LAN に関するトラブル

現 象	原因と対策
ネットワーク名 (SSID) を忘れてしまった	●LAN ポートに有線で接続したパソコンから、クイック設定 Web の「ホームゲートウェイ詳細設定」－「2. 情報」－「現在の状態」で確認してください。 （「機能詳細ガイド」●P25） ●初期状態のネットワーク名 (SSID) は、本商品側面のラベルに記載されています。
暗号化設定の暗号化キーを忘れてしまった	●LAN ポートに有線で接続したパソコンから、クイック設定 Web の「ホームゲートウェイ詳細設定」－「3. 無線 LAN」－「無線 LAN 詳細設定」で確認してください。（「機能詳細ガイド」●P25） ●初期状態の暗号化キーは、本商品側面のラベルに記載されています。
本商品に接続できない	●本商品と無線 LAN 端末（子機）で使用可能な暗号化モードが一致しているか確認してください。（「機能詳細ガイド」●P25）

現 象	原因と対策
本商品に接続できない (つづき)	●お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり通信が正常に行えない場合があります。 →ファイアウォールなどの動きによって本商品との通信に必要なポートが止められてしまっている場合があります。 その場合には、次の手順で設定を確認してください。 ①ファイアウォールソフト側で本商品との通信に必要なポートをあける (アドレス: 192.168.0.X、TCP ポート番号: 23/53/75/80、UDP ポート番号: 69/161) ②①で改善しない場合は、ファイアウォールソフトを停止またはアンインストールする ※セキュリティソフトの停止は、お客さま自身の責任において実施してください。 ●無線 LAN 端末 (子機) のドライバが正しくインストールされていない場合があります。 いったんドライバとユーティリティを削除してから、もう一度ドライバとユーティリティをインストールしてください。
本商品と無線 LAN 端末 (子機) 間の電波状態が悪い	●電波の届く範囲まで無線 LAN 端末 (子機) を移動したり、本商品や無線 LAN 端末 (子機) の向きを変えたりして電波状態を確認してください。
無線状態が良好なのに、通信できない	●＜IP アドレスの再取得＞(P51) を参照して、IP アドレスが取得できるか確認してください。 ●固定 IP アドレスでお使いの場合は、本商品と無線 LAN 端末 (子機) に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。 (例: 本商品が 192.168.0.1 のとき、無線 LAN 端末 (子機) は 192.168.0.X) ●他の LAN カードまたは、LAN ボードの機能を停止させてください。
無線状態が良好なのに、速度が出ない	●近くに隣接する無線チャンネルを使っている人がいる、またはデジタルコードレス電話機、ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、Bluetooth などの電波を放射する装置で電波干渉がある →クイック設定 Web の「ホームゲートウェイ詳細設定」-「3. 無線 LAN」-「無線 LAN 詳細設定」の「アクセスポイント設定」で「チャンネル自動選択」を「OFF」に設定し、「使用チャンネル」の番号を変更します。設定値の目安として、他の無線設備が使用しているチャンネルから 4 チャンネル以上ずらすようにしてください。 ●本商品と無線 LAN 端末 (子機) が近すぎる →1m 以上離してください。
AV サーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛ぶ	●AV サーバのレートを下品質に下げてください。 ●無線状態が悪い (本商品との距離が離れすぎている) →電波状態が良好となる場所に移動してください。 ●電波干渉がある →チャンネルを確認して、別のチャンネルに変更してください。

ご利用開始後のトラブル

● クイック設定 Web に関する問題

・ WWW ブラウザで設定画面が表示されない (クイック設定 Web が起動しない)

現 象	原因と対策
WWW ブラウザ画面のアドレスに「http://web.setup.home」と入力してもクイック設定 Web が表示されない	● 代わりに IP アドレスを入れても表示できます。 本商品の IP アドレスが初期状態の場合は「http://192.168.0.1/」です。IP アドレスを変更している場合は、変更した値を入力してください。 ● お使いのパソコンにプロキシの設定をしていませんか。 → プロキシの設定をしている場合、受け付けが拒否されます。Internet Explorer の場合、以下の設定を行ってください。 ①「ツール」－「インターネットオプション」－「接続」－「LAN の設定」の順にクリックする ②「LAN にプロキシサーバーを使用する」の「詳細設定」をクリックして、例外に「web.setup.home」を入れる ● お使いのパソコンにファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、(パソコンによっては、あらかじめインストールされている場合があります。) 本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。本商品の設定の前に、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。インターネットに接続できたら、もう一度必要な設定を行ってください。停止や設定の方法はソフトによって異なりますので、ソフトまたはパソコンのメーカーにお問い合わせください。 ※セキュリティソフトの停止は、お客さま自身の責任において実施してください。
WWW ブラウザで本商品にアクセスすると、管理者パスワードを要求される	● 「パスワード」に、お客さまが設定した管理者パスワード (●P30) を入力してください。(管理者パスワードを忘れてしまった場合は、本商品を初期化 (●P46) して、初期状態に戻してください。)
クイック設定 Web が開かない	● JavaScript を無効に設定している → WWW ブラウザの設定で JavaScript を有効に設定してください。(●P28) ● IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください。(●P26)

・ クイック設定 Web の操作ができない

現 象	原因と対策
管理者パスワードを忘れてしまった	● 本商品を初期化して、初期状態に戻してください。(➡P46)
使用可能状態において突然「IPアドレス 192.168.0.X は、ハードウェアのアドレスが....と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	● [OK] をクリックして、次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、他のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行って IP アドレスを再取得してください。 ＜ IP アドレスの再取得＞ ＜ Windows 10 の場合＞ ①「Windows」キーを押しながら「X」キーを押し、表示された一覧から「Windows PowerShell (管理者)」または「コマンドプロンプト (管理者)」をクリックする ②「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい] をクリックする ③「ipconfig/release」と入力して「Enter」キーを押し、IP アドレスを解放する ④「ipconfig/renew」と入力して「Enter」キーを押し、IP アドレスを取り直す ⑤IPv4 アドレスが「192.168.0.X」になることを確認する (X は 1 を除く任意の数字) ＜ macOS の場合＞ 以下は macOS v10.14 の場合の例です。 ①アップルメニューの「システム環境設定」を開き、「ネットワーク」アイコンを選択する ②「Ethernet」を選択する ※ 本商品に無線 LAN 接続している場合は「Wi-Fi」を選択します。 ③「詳細」をクリックする ④「TCP/IP」タブをクリックする ⑤「DHCP リースを更新」をクリックする ⑥IPv4 アドレスが「192.168.0.X」になることを確認する (X は 1 を除く任意の数字) ⑦[OK] をクリックする ＜ iOS の場合＞ 以下は iOS 12.0 の場合の例です。 ①ホーム画面の「設定」アイコンをタップする ②設定メニューの「Wi-Fi」をタップする ③接続中のネットワーク名 (SSID) をタップする ④「リースを更新」をタップする ⑤「リースを更新」をタップする ＜ Android の場合＞ 以下は Android 8.0 の場合の例です。 ①「設定」アイコンをタップする ②「無線とネットワーク」にある「Wi-Fi」をタップする ③Wi-Fi をいったん OFF にして、再度 ON にする ※ 左上にある「ON」をタップすると「OFF」に、「OFF」をタップすると「ON」になります。

現 象	原因と対策
前はできたのにインターネット接続ができない	● 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れないでください。 → 電源を切ったあとは、10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。 ● パソコンなどに IP アドレスが自動取得されていません。 → IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。 下記のどちらかの方法で取得してください。 a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる (起動後、下記を参照して再度パソコンの IP アドレスを確認する。) < Windows 10 の場合 > ① 「Windows」キーを押しながら「X」キーを押し、表示された一覧から「Windows PowerShell (管理者)」または「コマンドプロンプト (管理者)」をクリックする ② 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい] をクリックする ③ 「ipconfig」と入力して「Enter」キーを押す ④ 表示された IPv4 アドレスを確認する < macOS の場合 > 以下は macOS v10.14 の場合の例です。 ① アップルメニューの「システム環境設定」を開き、「ネットワーク」アイコンを選択する ② 「Ethernet」を選択する ※ 本商品に無線 LAN 接続している場合は「Wi-Fi」を選択して「詳細」をクリックし、「TCP/IP」タブをクリックします。 ③ 表示された IP アドレス (または IPv4 アドレス) を確認する < iOS の場合 > 以下は iOS 12.0 の場合の例です。 ① ホーム画面の「設定」アイコンをタップする ② 設定メニューの「Wi-Fi」をタップする ③ 接続中のネットワーク名 (SSID) をタップする ④ 表示された IP アドレスを確認する < Android の場合 > 以下は Android 8.0 の場合の例です。 ① 「設定」アイコンをタップする ② 「無線とネットワーク」にある「Wi-Fi」をタップする ③ 「メニュー」にある「Wi-Fi 詳細」をタップする ④ 表示された IP アドレスを確認する b. 前ページ (●P51) の「IP アドレスの再取得」を行う
本商品が正常に動作しないが、原因がわからない	● 設定に誤りがある場合があります。 どうしても動作しない場合は、本商品を初期化して初期状態に戻し、最初から設定し直してください。(●P46)
本商品のバージョンを確認したい	● クイック設定 Web の「ホームゲートウェイ詳細設定」－「2. 情報」－「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認できます。

● その他の問題

現 象	原因と対策
USB ポートが利用できない	● USB ポートは過電流監視機能を搭載していますので、本商品から給電される電流が過電流（約 500mA を超える）となった場合、自動的に給電を遮断します。復旧させるには、過電流保護状態の USB ポートから USB デバイスを取り外したあと、本商品の電源オフ／オンを行ってください。

製品仕様

ハードウェア仕様

通信事業者とのご契約内容やサービス内容により、制限される機能（仕様）があります。

項 目			諸元および機能	備 考	
WAN インタフェース	物理インタフェース		8 ピンモジュラージャック (RJ-45) × 1 ポート (10GBASE-T/1000BASE-T/100BASE-TX)		
	データ転送速度		10Gbps/1Gbps/100Mbps		
	全二重 / 半二重		全二重		
LAN1 ～ 3 インタフェース	物理インタフェース		8 ピンモジュラージャック (RJ-45) × 3 ポート (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T _e) ※ 1		
	データ転送速度		1Gbps/100Mbps ※ 1		
	全二重 / 半二重		全二重 / 半二重 (100Mbps/10Mbps のみ)		
LAN4 インタフェース	物理インタフェース		8 ピンモジュラージャック (RJ-45) × 1 ポート (10GBASE-T/5GBASE-T/2.5GBASE-T/1000BASE-T/100BASE-TX)		
	データ転送速度		10Gbps/5Gbps/2.5Gbps/1Gbps/100Mbps		
	全二重 / 半二重		全二重		
無線 LAN インタフェース	Draft IEEE802.11ax	周波数帯域 / チャンネル	2.4GHz 帯 (2,400-2,484MHz) : 1 ～ 13ch		
			[W52] 5.2GHz 帯 (5,150-5,250MHz) : 36/40/44/48ch ※屋内限定		
			[W53] 5.3GHz 帯 (5,250-5,350MHz) : 52/56/60/64ch ※屋内限定		
			[W56] 5.6GHz 帯 (5,470-5,725MHz) : 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch		
		伝送方式	OFDMA (直交周波数分割多元接続) 方式 / 搬送波数 [HE20] 242、[HE40] 484、[HE80] 996 MIMO (空間多重) 方式		
		伝送速度 ※ 2	2.4GHz 帯 最大 1147.1Mbps (HE40 の場合) ※ 3 (自動フォールバック) 5.2GHz 帯 (W52) 5.3GHz 帯 (W53) 5.6GHz 帯 (W56) 最大 2401.9Mbps (HE80 の場合) ※ 4 (自動フォールバック)		
	IEEE802.11ac	周波数帯域 / チャンネル	[W52] 5.2GHz 帯 (5,150-5,250MHz) : 36/40/44/48ch ※屋内限定		
			[W53] 5.3GHz 帯 (5,250-5,350MHz) : 52/56/60/64ch ※屋内限定		
			[W56] 5.6GHz 帯 (5,470-5,725MHz) : 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch		
			伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式 / 搬送波数 [VHT20] 56、[VHT40] 114、[VHT80] 242 MIMO (空間多重) 方式	
			伝送速度 ※ 2	最大 1733Mbps (VHT80 の場合) ※ 5 (自動フォールバック)	

項 目			諸元および機能	備 考	
無線 LAN インタフェース	IEEE802.11n	周波数帯域 / チャンネル	2.4GHz 帯 (2,400-2,484MHz) : 1 ~ 13ch		
			[W52] 5.2GHz 帯 (5,150-5,250MHz) : 36/40/44/48ch ※屋内限定		
			[W53] 5.3GHz 帯 (5,250-5,350MHz) : 52/56/60/64ch ※屋内限定		
			[W56] 5.6GHz 帯 (5,470-5,725MHz) : 100/104/108/112/116/120/124/ 128/132/136/140ch		
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式 / 搬送波数 [HT20] 56、[HT40] 114 MIMO (空間多重) 方式		
	伝送速度 ※ 2	2.4GHz 帯 5.2GHz 帯 (W52) 5.3GHz 帯 (W53) 5.6GHz 帯 (W56) 最大 600Mbps (HT40 の場合) ※ 6 デジタル変調方式の 256QAM 使用時は、 最大 800Mbps ※ 7 (自動フォールバック)			
	IEEE802.11a	周波数帯域 / チャンネル	[W52] 5.2GHz 帯 (5,150-5,250MHz) : 36/40/44/48ch ※屋内限定 [W53] 5.3GHz 帯 (5,250-5,350MHz) : 52/56/60/64ch ※屋内限定 [W56] 5.6GHz 帯 (5,470-5,725MHz) : 100/104/108/112/116/120/124/ 128/132/136/140ch		
			伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式 / 搬送波数 52	
		伝送速度 ※ 2	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)		
	IEEE802.11g	周波数帯域 / チャンネル	2.4GHz 帯 (2,400-2,484MHz) /1 ~ 13ch		
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式 / 搬送波数 52		
		伝送速度 ※ 2	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)		
	IEEE802.11b	周波数帯域 / チャンネル	2.4GHz 帯 (2,400-2,484MHz) /1 ~ 13ch		
			伝送方式	DS-SS (スペクトラム直接拡散) 方式	
			伝送速度 ※ 2	11/5.5/2/1Mbps (自動フォールバック)	
		無線アンテナ		2.4GHz 帯 : 送信 4 × 受信 4 5GHz 帯 : 送信 4 × 受信 4 (内蔵アンテナ)	
	Z-Wave インタフェース	周波数帯域 / チャンネル		920MHz 帯 (922.5/923.9/926.3MHz)	
伝送速度		100Kbps			
USB インタフェース	物理インタフェース		USB2.0 × 1 ポート (コネクタ : タイプ A) USB Bus Power 対応		

項 目		諸元および機能	備 考
電話機 インタフェース	物理インタフェース	RJ-11 × 2 ポート 600 Ωインピーダンス 受信ダイヤル：PB/DP ブランチ接続：不可 供給電圧：約－48V（無負荷時）	
電源		AC100V ± 10% 50/60Hz	AC アダプタ使用
消費電力 ※ 8		約 28W（最大）	
外形寸法		約 37（W）× 200（D）× 208（H）mm	突起部除く
質量（本体のみ）		約 0.9kg	AC アダプタを除く
動作環境		温度 0 ～ 40℃ 湿度 10 ～ 90% Rh	結露しないこと
VCCI		VCCI クラス B	

- * 1：本商品を快適にご利用いただくには、1000BASE-T、1000Mbps または 100BASE-TX、100Mbps の方式での接続を推奨します。
- * 2：規格による理論上の速度であり、ご利用の環境や接続機器などにより実際のデータ転送速度は異なります。
- * 3：ご利用環境によっては、HE40/HE20 モードが自動で切り替わるため、デュアルチャンネルを「ON」に設定しても、HE20 で接続される場合があります。
- * 4：ご利用環境によっては、HE80/HE40/HE20 モードが自動で切り替わるため、クワッドチャンネルを「ON」に設定しても、HE20 など で接続する場合があります。
- * 5：ご利用環境によっては、VHT80/VHT40/VHT20 モードが自動で切り替わるため、クワッドチャンネルを「ON」に設定しても、VHT20 など で接続する場合があります。
- * 6：ご利用環境によっては、HT40/HT20 モードが自動で切り替わるため、デュアルチャンネルを「ON」に設定しても、HT20 で接続される場合があります。
- * 7：256QAM 対応のため、同機種対向の場合は最大 800Mbps となります。
- * 8：お客さまのご利用状態により、消費電力は変わります。

構成品

Aterm WH842X	1
AC アダプタ	1
LAN ケーブル（Cat6A/ 白色）	1
電話機コード	1
お使いになる前に（別紙）	1

その他の構成品（添付品）については、通信事業者のガイドを参照してください。

確認シート

お問い合わせの際には、あらかじめ以下の確認シートにご記入のうえ、お問い合わせください。

●お客さま宅内環境確認シート

■お客さま情報	
●お客さま氏名	
●お客さま ID	
■他接続事業者へのご契約状況（以前に申し込みをされた場合も含めてご記入ください。）	
1. なし	
2. あり（事業者名：	ご契約時期： 年 月頃）
■スマートフォン／タブレット端末／その他接続機器	
●ご利用機器・OS	
（機器名：	／ OS, Ver など： ）
（機器名：	／ OS, Ver など： ）
（機器名：	／ OS, Ver など： ）
■パソコン環境	
●コンピュータ環境	
1. メーカー製 メーカー名（	）型番（
2. 自作機	
●ご利用 OS	
1. Windows 10（Ver	） 2. macOS（Ver
3. その他	
●インターネット関連ソフトウェア（利用しているものに○をつけてください。）	
a. ウィルス対策ソフト（製品名：	）
b. ファイアウォールソフト（製品名：	）
c. インターネット表示高速化ソフト（製品名：	）
●周辺機器の有無	
1. なし	2. あり（機器名など：
■LAN 環境	
●ご利用の LAN アダプタ名	●ハブを利用して複数台のパソコンを接続していますか？
	1. 1 台のみ 2. 複数台を接続（ ）台

●ハブ、ブロードバンドルータ（BR）、無線 LAN、PLC の使用

1. なし
2. あり 種類：（ハブ・BR・無線 LAN・PLC） 製品名（ ）

■ご自宅・周辺環境

●住居形態

1. 一軒家（ ）階建 2. 集合住宅（アパート・マンション・UR 賃貸住宅）（ ）階

●周辺環境（ご自宅のお近くにある該当するものすべてに○をつけてください。）

1. 鉄道 2. 高速・高架道路 3. 大きな河川・湖 4. 高压送電線
5. 電波塔・アンテナ 6. 放送局 7. 工場 8. 空港
9. 自衛隊・米軍基地 10. その他（ ）

●宅内環境（本商品設置周辺の電源を利用している状況を確認してください。）

- | | |
|--|--------|
| a. 本商品の 1 m 以内にノイズ源がある（冷蔵庫、電子レンジ、テレビ、ステレオなど） | はい・いいえ |
| b. 本商品をパソコンの上のせている | はい・いいえ |
| c. 本商品の電源をたこ足配線できている | はい・いいえ |
| d. 本商品の周囲に電源タップがある | はい・いいえ |

●接続状況確認シート

■本商品のランプの点灯／点滅状況

●側面、背面のランプの色、点灯／点滅状態を確認してください。

■その他（ハブ、無線 LAN などで複数台のパソコンを接続しているかたのみお答えください。）

- | | |
|----------------------------------|--------|
| ●ハブなどを取り除き、1 台のみで接続して状況は改善しましたか？ | はい・いいえ |
|----------------------------------|--------|

●その他、ご質問などございましたらご記入ください。（お困りになっていることなど）

お問い合わせ

接続ができない、うまく設定ができない場合は、本書の「トラブルシューティング」(●P47)をご参照のうえ、本商品側面のラベルに記載されているお問い合わせ窓口へお問い合わせください。

- パソコンの設置や操作方法などについてのお問い合わせは、各パソコンメーカーのサポートセンターなどへお願いいたします。
- 回線接続の条件などについてのお問い合わせは、本商品側面のラベルに記載されているお問い合わせ窓口へお願いいたします。

お願い

- ・ パソコンの設置や操作方法などについてのお問い合わせは、各パソコンメーカーのサポートセンターなどへお願いいたします。
- ・ 回線接続の条件などについてのお問い合わせは、本商品側面のラベルに記載されているお問い合わせ窓口へお願いいたします。

